2026年度　成年後見人材育成研修（岡山）　カリキュラム　暫定版

日程	実時間	課目	課目の目標	時間(分)	形態	講師	使用テキスト				参考資料		統一レジュメ	課題
							①	②	③	④	⑤	⑥		
9/12 (土) 1日目 (390分)	未定	受付												
		0　研修ガイダンス	1　研修の目的を確認する 2　研修概要、スケジュール、事前課題とその取り扱い等を理解する 3　受講における留意点及び修了要件を理解し、受講姿勢を明確にする	30	講義	講師未定						○	●	
		1　成年後見制度の解説	1　成年後見制度(法定後見・任意後見)を理解する 2　民法(成年後見制度等)改正に影響を与えた障害者権利条約や成年後見制度利用促進基本計画等について理解する 3　成年後見制度だけではない総合的権利擁護支援について、改正社会福祉法について理解する	120	講義	視聴覚教材(動画視聴)	○	○			○	○	●	●
		2　社会福祉士と成年後見～権利擁護の視点から	1　社会福祉士の専門性を活かした権利擁護の視点を理解する 2　権利擁護の諸制度や成年後見制度の課題と最新動向を理解する	120	講義	講師未定	○	○			○	○		
		3　意思決定支援の基本	1　意思決定支援の必要性と重要性を理解する 2　意思決定支援のプロセスを理解する 3　意思決定支援のガイドラインや関連情報を理解する	120	講義	講師未定	○	○		○		○		
9/13 (日) 2日目 (360分)	未定	受付												
		4　成年後見制度における家庭裁判所の理解	1　成年後見制度における家庭裁判所の役割を理解する 2　統一書式(初回・定期報告書、事務報告書)について理解する 3　新しい財産管理の仕組みについて理解する 4　後見人の交代・追加選任などの取組みについて理解する	90	講義	視聴覚教材(動画視聴)	○	○				○	●	
		5　中核機関の役割と機能	1　中核機関が設置された背景と目的を理解する 2　中核機関が担う主要な役割を理解する 3　地域における中核機関の機能が、権利擁護支援において果たす役割を理解する	90	講義	視聴覚教材(動画視聴)45分 (講義)45分 講師未定						○	●	
		6　財産法の基礎・財産管理のための知識	1　成年後見制度活用のための財産法の基礎的知識を修得する 2　成年後見制度活用のための財産管理の基本的事項を理解する 3　財産管理に必要な具体的方法に関する知識を修得する	180	講義	講師未定	○	○	○			○		●
12/12 (土) 3日目 (360分)	未定	受付												
		7　医療機関との連携	1　医療機関や医療機関の各専門職との連携について理解する 2　医療行為における意思決定支援のあり方やACP(アドバンス・ケア・プランニング)について理解する	60	講義	講師未定	○							
		8　身上保護のための知識	1　財産管理の基盤となる身上保護について理解する 2　意思決定支援のあり方やチーム支援について理解する	150	講義	講師未定	○	○	○	○	○	○		
		9　後見事務の実際	具体的事例を通して、財産管理・身上保護の方法を理解する	150	事例解説	講師未定	○	○	○	○		○		
12/13 (日) 4日目 (300分)	未定	受付												
		10　演習1 成年後見制度の必要性の判断	1　成年後見制度の必要性の判断について理解する 2　必要性の判断における意思決定支援の重要性について理解する	90	演習	講師未定	○	○	○	○			●	●
		11　演習2 権利擁護支援チームの形成支援	1　適切な後見人候補者の選定方法について理解する 2　家庭裁判所への候補者依頼における課題を理解する 3　多職種連携による候補者選定の検討について理解する	100	演習	講師未定	○	○	○	○			●	●
		12　演習3 権利擁護支援チームの自立支援	1　後見開始後の継続的な支援について理解する 2　本人の状況変化に応じた柔軟な対応について理解する 3　定期的な後見活動の評価と見直しについて理解する	110	演習	講師未定	○	○	○	○			●	
		事務連絡												

●e-ラーニング動画視聴(任意での事前学習)※視聴方法については追ってお知らせします

No	実時間	課目	課目の目標	時間(分)	形態	講師	使用テキスト				参考資料		統一レジュメ	課題
							①	②	③	④	⑤	⑥		
1	-	家族法の基礎	1　成年後見制度活用に必要な親族法の基礎知識を修得する 2　成年後見制度活用に必要な相続法の基礎知識を修得する	120	講義	成年後見実務に精通した弁護士、有識者(課目の内容を専門にしている大学(大学院・短大・専門学校を含む)の教員)	○	○					●	
2	-	障害特性の理解	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等について理解する	60	講義	精神科医師等	○	○					●	

使用テキスト及び参考資料(テキスト購入案内は受講決定通知時にご案内します)

①『権利擁護と成年後見実践』　②『後見六法』　③『成年後見実務マニュアル』　④『意思決定支援実践ハンドブック』　⑤『専門職後見人と身上監護』　⑥その他参考資料集等

（メインテキスト）　（参考テキスト）